いま、ここ、とことん全力 （学年通信第6号）

～JUMP OUT OF HERE～

令和元年9月12日発行
福岡県立山門高等学校
第二学年主任　丹羽朋子

先生からのメッセージ　4組担任　丹羽先生

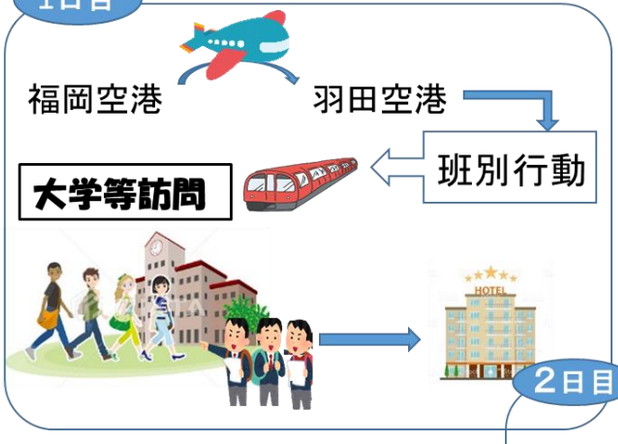
２年生の夏休み、いかがでしたか。今年の学年テーマ「JUMP OUT OF HERE」のとおり、自分の枠から一歩踏み出してチャレンジをした生徒がたくさんいます。理数コースと希望者で行った学習合宿、みやま市の小学校ボランティア（参加６０名）、まいピアで行われた小学生対象のボランティア（参加３７名）、面接等の審査で参加資格を勝ち取って参加した校外の研修会。公務員志望者はインターンに、看護師志望者はふれあい看護にと職業を意識する体験もありました。小さい一歩でも踏みだせば必ず「学び」がある。いい感じです！

学習合宿での勉強風景
下は「大塚製薬」さんにて

２学期といえば…？

２年生の２学期は行事がいっぱい。１０月初めには文化祭があり、生徒会や文化委員を中心に学校行事を運営していきます。
１０月下旬には修学旅行があります。ところで、修学旅行の日程がみなさんは頭に入っていますか？もう一度確認しておきましょう。

1日目



９：５５　　福岡発
１１：３０　羽田着
　の飛行機で旅立ちます。

午後からは班別で大学訪問を行います。

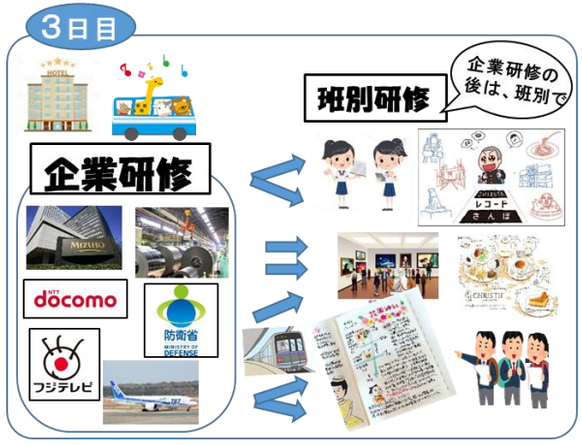
2日目

班ごとに

・東京ディズニーランド
・東京ディズニーシー
・都内の行きたいところ

をめぐります。

3日目

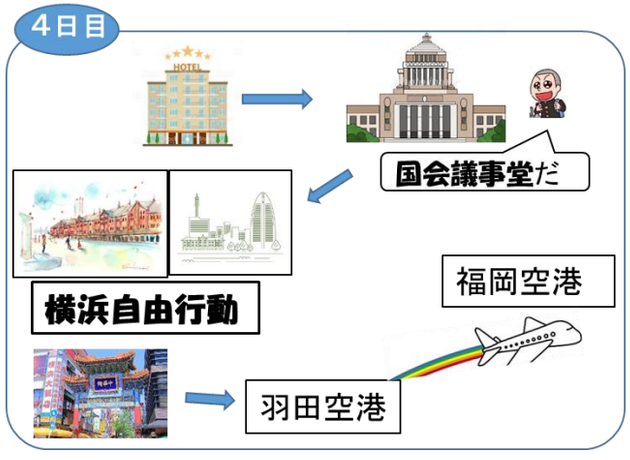


午前中は企業訪問を行います。

・みずほ銀行
・ＪＦＥスチール
・ＮＴＴどこも
・防衛省
・全日空空輸
・フジテレビ
（フジテレビは
午後に回ります）

午後は班別研修です。

4日目



午前中は国会議事堂を見学します。
昼食は横浜で取ります。

１５：０５　羽田発
１７：０５　福岡着
　の飛行機で帰ってきます。

修学旅行に向けての準備も必要となります。ただ「楽しい」だけではなく、何かを学び、得ることが大事です。初日の大学訪問では何を知りたいですか？３日目の企業研修では？探究のフィールドワークをする予定の人もいると思います。東京に行ったからこそ出来る経験をして、たくさんの学びを今後に活かしてほしいと思っています。

【　今後の日程　】

9月17日（火）～20日（金）	2学期中間考査
9月28日（土）	中学生体験入学
9月30日（月）	土曜セミナー※9/28(土)の振替休日
10月　4日（金）・　5日（土）	柏友祭（文化祭）
10月　6日（日）	第2回英検1次
10月　7日（月）	10/5(土)の振替休日
10月12日（土）	土曜セミナー
10月21日（月）～24日（木）	修学旅行
10月25日（金）	10/22（火・祝）の振替休日
10月26日（土）	土曜セミナー

～飛び出した夏で、学んだこと～

夏休み中に校外へ飛び出し、 さまざまなチャレンジをした生徒たちの報告です。

◆高校生のための次世代リーダー養成塾

私がリーダー塾で見つけたのは、私に今足りていないリーダー性です。私に今あるリーダー性は、人心掌握術や意見の集約術などでした。しかし、今私に足りていないリーダー性は、決断力、知識量、人をまとめる力などたくさんありました。それらのスペシャリストの塾生を見てきて、交流して、少し自分のものになったかなと思います。私が学んだことをこの学校全体に伝え、学校全体としての大幅なレベルアップにつなげていきます。 （４組　米本　豊）

◆青少年アンビシャスの翼

私は、夏休みに「青少年アンビシャスの翼」の事業に参加し、ベトナムのハノイでボランティア活動をしました。活動場所は、首都であるハノイの一角にある水上で暮らしている人々がいるところでした。ここに住んでいる人は、お金がなくて出生証明書を取得できなかったり、陸上に住めなかったりして、募金があってやっと暮せています。私たちは本当に恵まれているなと感じ、日本では絶対できない経験ができて良かったです。 （１組　豊田　翔吾）

◆福岡県教育庁等高校生インターンシップ

7月31日～8月2日まで公務員インターンシップとして福岡県庁の工業保安課で勉強させていただきました。男性ばかりの部署で初めは緊張しました。7人分の電気工事士免許状製作、受付、パソコン入力等の作業をしました。部署の方々からとても可愛がってもらい毎日通うのが楽しくて3日間がとても短く感じました。貴重な経験をさせていただき、公務員になりたいという意志が一層強くなりました。夢の実現に向けて勉強を頑張ります。 （５組　梅﨑　由衣）

◆みやま市学校支援ボランティア

私は小学六年生の子どもに国語と算数を教えました。相手が小学生だったので理解してもらうのが大変だったけど、その分、理解してくれたときやお礼を言われたときはとてもやりがいを感じました。また、教えるときは相手のペースをしっかりみながら合わせてあげることと、どう教えたらわかりやすいか相手の立場になってみることが大切だと気づきました。だから相手の気持ちを考えて行動できる人になろうと思いました。 （３組　神野　理恵）

◆ふくおか知の創造塾

私が知の創造塾に参加して考えたことは、もう少し一人一人が社会のことを知って行動していかないといけないということです。私は不妊治療や出生前診断など妊婦や赤ちゃん、またはそれを囲む社会について考えました。これを調べる中で初めて知った現状や意見をグループの人と話すとで、自分とは違う意見があることがわかりました。この一つ一つの気づきを自分なりに行動に移していくことで、より良い社会になることを学びました。 （２組　大坪　由依）

私は知の創造塾で仲間と共に考えることの大切さを改めて感じました。難題にぶつかったときに一人でじっと考えるのではなく、自分はどう思っているのかを相手にはっきり伝えることが必要でした。相手に意見を伝え、相手の意見を尊重する。このようなコミュニケーションをとることで解決の糸口を見つけることができました。そのとき卒塾生の「未知との出会い」という言葉を思い出し、考えて学習し知識を得ることの喜びを感じました。 （４組　山田　千暁）

私が参加した知の創造塾では、テーマについて話し合う中で多くのことを学ぶことができました。”正解がない”テーマの中で班員のさまざまな角度からの見方や考え方、またどうすれば自分の意見を相手へ上手に伝えることが出来るかといったことを新しい仲間との出会いと共に得ることができました。この知の創造塾の合宿は私にとって学ぶことに対する良い刺激になり、行って良かったと感じています。（２組　浦田　唯斗）

私は知の創造塾でプラスチックのごみの問題について話し合いました。プレセミナーの前までは、プラスチックの問題を知りませんでした。勉強していくと日本のリサイクルの問題やマイクロプラスチックの問題などさまざまな問題があることが分かりました。私は解決するためにまず、この問題の知名度を上げる必要があると考えました。また、県内各地の高校生と話し合ったことなど学校ではできないことを体験でき、良い経験になりました。 （２組　末松　奏真）

私は知の創造塾で討論することの大変さ、そして楽しさを感じました。私のグループは「発展途上国の教育の質の向上」というテーマでした。これは答えがなく私自身もきちんとした教育を受けられているので討論し合うのが難しく、なかなか前に進めませんでした。しかし討論の回数を重ねる度に意見がまとまっていき楽しさを感じました。この三日間たくさんの課題を見つけることができました。これを改善して今後に活かしていきたいです。 （４組　島添　由麻）

◆夏休みチャレンジ体験みやま

「チャレンジ体験みやま」では年齢にかかわらず視線を相手と合わせることがとても大事だと気づくことができました。私が公務員になったときに、相手がどう思っているのかという気持ちをしっかり考えながら話したいと思いました。どの職種を受けるか迷っている状況ですが、どれを選択するにしてもこの学びは大事だと思うので、今のうちから相手のことを考えることと伝えるときははっきり聞こえるようにしていこうと思いました。
（５組　牛嶋　咲稀）